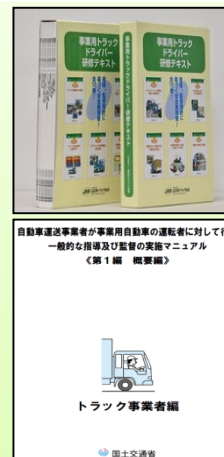


【A】 5. 乗務員指導教育(一般)

1. 自動車運送事業は、営業所を一度離れると運行中の安全確保が運転者に委ねられるため、高い安全意識と能力が求められることから、事業者において輸送の安全性を向上させるために「安全教育」を積極的に実施する必要があります。
2. 乗務員に対する指導及び監督にあたっては「貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う指導及び監督の指針」(平成13年国土交通省告示第1366号)に基づき実施しなければなりません。

1. 事業用自動車を運転する場合の心構え
2. 事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき基本的事項
3. 事業用自動車の構造上の特性
4. 貨物の正しい積載方法
5. 過積載の危険性
6. 危険物を運搬する場合に留意すべき事項
7. 適切な運行の経路及び当該経路における道路及び交通の状況
8. 危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法
9. 運転者の運転適性に応じた安全運転
10. 交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因及びこれらへの対処方法
11. 健康管理の重要性
12. 安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法



令和 年度 安全 教育 計画		
会社名／営業所名：		
月	国交省告示第1366号にもとづく教育指導	行事
4月	①トラックを運転する場合の心構え	春の全国交通安全運動
5月	②トラックの安全運行を確保するために遵守すべき基本的事項	
6月	③トラックの構造上の特性	
7月	④貨物の正しい積載方法	夏の交通安全県民運動

乗 務 員 教 育 記 録 簿		年 月 日 () 時 ～ 時	
指導教育の種類と内容 (国土交通大臣省令第1366号)		場所	実施者
(一般の運転者に対する指導)		教育の種類	□一般 □初任者 □高齢者 □事故受害者 □運行管理者の補助者 □整備管理者の補助者
1.トラックを運転する場合の心構え 2.トラックの運行の安全を確保するための遵守すべき基本的事項 3.トラックの構造と特性 4.貨物の正しい積載方法 5.過積載の危険性 6.危険物を運搬する場合に留意すべき事項 7.適切な運行の経路及び異常経路における道路状況の掌握 8.危険の予測及び回避 9.運転者の運転適性に応じた安全運転 10.交通事故に関する運転者の生理的及び心理的状態に対する適切な対応方法 11.事故処理の要領 12.安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法 ※上記1～12項目及びそのその他必要な項目を年1回実施すること。		教育内容→教育に使用したテキスト等を送付又は保存すること。	
(その他必要な指導項目)			
活動的運動、消費電力運動、過労運動、重荷物等使用運動、急制動運動、急旋回運動、最高速度運動、脱走許運動、緊急待避運動		氏 名	備 考
(初任運転者の特別な指導の内容)			
1.一般の運転者に対する指導の2項目 2.安全運転の実践 ※上記1～(一般の運転者に対する指導)の指導する場合において、2.の5項目全項目に関する事項3.の5のうち高度、視野、死角、内輪差及び制動距離等に関する事項4.の3の貨物の積載方法及び制動方法に関する事項の1つについては、実習を併用して指導すること。 ※上記1～2を15時間以上実施すること。			

【チェックポイント】

- ・指導監督指針の12項目について、年間計画表を作成し、毎年実施されてますか？ ☐
- ・運転者全員へ指導されてますか？ ☐
- ・運行の安全を確保するために必要な運転に関する技能および知識を習得させていますか？
(例：指導後に試問や感想等で習熟度の確認をする等)
- ・指導記録簿を作成し、3年間保存されてますか？ ☐

※「運転者への指導教育」については、P47～48の参考資料を参照

項目判定
☐ 適 ☐ 否